

ねらい

学校では、子どもたちの豊かな人間性を育むために、体験活動等を生かしながら教育活動全体を通じて道徳教育を進めています。しかし、実生活の中で生きて働く道徳的实践力を育むためには、学校だけでなく、家庭や地域と連携しながら進めていくことが必要となってきます。そこで、学校では道徳の授業の積極的な公開に努めています。

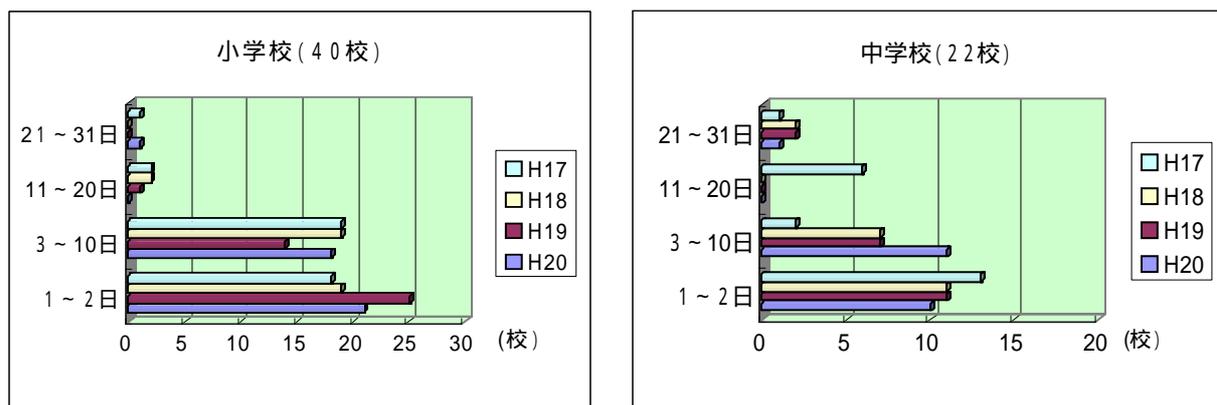
現状と課題

体験活動等を生かした道徳の時間の授業を年間3回以上実施した学級の割合

平成20年度 【小学校】62% 【中学校】69% 【小・中学校平均】64%

総合的な学習の時間や特別活動での体験をもとにして関連性のある資料を用いたり、参加体験型学習を取り入れたりしながら、道徳教育の取組を進めていますが、道徳的实践力を育成するためには、体験活動等を生かした道徳の授業をより充実させていく必要があります。

平成17～20年度の道徳の授業公開実施期間



- ・ 学校公開日や授業参観日に道徳の授業公開を位置付け、全学級で公開する学校が増えています。(平成20年度 小39校、中19校)
- ・ 道徳の授業を積極的に公開したり、保護者参加型の道徳の授業を行ったり、授業の内容を学校だよりや学年だより、ホームページなどで発信したりすることで、「授業の様子や資料をもとに家庭で話し合うきっかけとなる」、「心の教育は大切である」といった学校の道徳教育の取組について保護者や地域等から理解、評価をいただく声が寄せられています。

今後の改善方針

道徳的实践力を育てるために、実生活や実社会とのかかわりを深め、さまざまな体験活動を生かした道徳教育をより一層推進します。

道徳の授業公開を継続するとともに、保護者や地域の皆さんの授業への参加や協力が得られるよう努めていきます。

道徳教育を一層充実させるために、道徳教育推進教師を中心として、道徳教育全体指導計画の見直しを図るとともに、各教科等との関連を図って指導内容を効果的に配列した道徳教育年間指導計画の作成を行います。また、各校に配布されている「道徳教育実践事例集」や「道徳教育実践事例集」を参考にしながら、子どもの心に響く教材開発や指導法の工夫等を行い、取組を進めます。